

# 一般社団法人 ロシア NIS 貿易会 平成 24 年度事業報告

## 【事業報告】

### I. 情報サービス・ビジネス交流事業

#### 1. 資料・刊行物等の作成、配布

- ・定期刊行物として、「ロシアNIS調査月報」、「ロシアNIS経済速報」(旬報)を刊行、配布した。
- ・「Moscow Business News」による情報の提供を行った。
- ・「ROTOBOホームページ」、「日露貿易投資促進機構ホームページ」、「日本ウズベキスタン投資環境整備ネットワークホームページ」、「日本キルギス投資環境整備ネットワーク」、「日本カザフスタン投資環境整備ネットワーク」、「日本トルクメニスタン投資環境整備ネットワーク」といったウェブサイト、「CEEDS」他データベースによる情報提供を行った。(Ⅲ. 国庫補助事業:参照)
- ・その他、適宜、資料の作成、配布ならびにレファレンス・サービスを行った。

#### 2. ミッションの派遣

- ・第5回日露投資フォーラム(タタルスタン共和国カザン市で開催)に先立ち、西岡会長を団長とする「ROTOBOウリヤノフスク州ミッション」を平成24年6月4日～5日にかけてウリヤノフスク州に派遣した。モロゾフ同州知事との会談他、ザヴォルジエ工業団地や、ウリヤノフスク自動車工場(UAZ)他現地有力企業の視察を実施した。

#### 3. ミッションの受入

ロシア等相手国の要請に応じて、適宜受け入れた。

- ・ロシア地方銀行協会代表団(平成24年10月11日～12日)
- ・ズヴェルドロフスク州代表団受入(平成25年2月16日～23日)

(I. 情報サービス・ビジネス交流事業 4. 講演会・シンポジウム・セミナー等の開催、  
Ⅲ. 国庫補助事業:参照)

#### 4. 講演会・シンポジウム・セミナー等の開催

- 「第5回日露投資フォーラム」(主催:経済産業省、ロシア経済発展貿易省、日露貿易投資促進機構、タタルスタン共和国、後援:(一社)ロシアNIS貿易会他、平成24年6月6日～7日、ロシア連邦タタルスタン共和国カザン市)(Ⅲ. 国庫補助事業:参照)
- ロシアビジネスセミナー「中堅・中小企業のロシアビジネスの可能性 in 仙台」(主催:(一社)ロシアNIS貿易会、宮城県、(独)日本貿易振興機構(ジェトロ)仙台貿易情報センター、平成24年8月29日、アークホテル仙台、)(Ⅴ. JKA補助事業:参照)

- 「キルギス共和国投資促進ラウンドテーブル」（主催：在日キルギス共和国大使館、（一社）ロシアNIS貿易会、平成24年10月12日、東京証券会館）（Ⅲ. 国庫補助事業:参照）
- セミナー「ベラルーシ～ホスピタリティーと信頼性の国」（共催：特定非営利活動法人日本・ロシア協会、在日ベラルーシ大使館、後援：（一社）ロシアNIS貿易会、平成24年11月14日、衆議院第2議員会館）
- 「第5回日露エネルギー・環境対話イン新潟」（主催：新潟県、（公財）環日本海経済研究所他、後援：外務省、経済産業省、（一社）ロシアNIS貿易会他、平成24年11月22日～23日、朱鷺メッセ）
- 「JAPAN EXPO IN RUSSIA 2012」（主催：JAPAN EXPO IN RUSSIA 2012 実行委員会、(株)JTBコーポレートセールス、（一社）ロシアNIS貿易会、後援：(独)日本貿易振興機構（JETRO）モスクワ事務所他、平成24年11月28日～29日、モスクワ、エキスポセンター）（Ⅰ. 情報サービス・ビジネス交流事業 5. 見本市関連事業、Ⅲ. 国庫補助事業:参照）
- 「モスクワ市投資プレゼンテーション～モスクワ・テクノポリス構想～」(主催：ロシア連邦モスクワ市、（一社）ロシアNIS貿易会、後援：(独)日本貿易振興機構（JETRO）、平成24年12月7日、ホテルニューオータニ）（Ⅲ. 国庫補助事業:参照）
- 「カザフスタン環境企業グループビジネスプレゼンテーション」（主催：（一社）ロシアNIS貿易会、平成24年12月11日、マツダ八重洲通ビル）（Ⅲ. 国庫補助事業:参照）
- 「キルギス縫製企業グループビジネスプレゼンテーション」（主催：（一社）ロシアNIS貿易会、平成25年1月23日、（一社）ロシアNIS貿易会会議室）（Ⅲ. 国庫補助事業:参照）
- 「ロシア・ナノテク投資セミナー～ナノテク分野における日ロ協力の可能性～」(主催：（一社）ロシアNIS貿易会、公開型国家株式会社「ロスナノ」、後援：在日ロシア連邦大使館、在日ロシア連邦通商代表部、平成25年2月1日、ホテルニューオータニ）（Ⅲ. 国庫補助事業:参照）
- 「平成25年(一社)ロシアNIS貿易会新春懇親パーティ」（約160名出席、平成25年2月1日、如水会館）
- 「日露石油ガス・セミナー（東京）～ロシアの石油ガス最新事情と日ロ協力の可能性～」(主催：（一社）ロシアNIS貿易会、平成25年2月13日、如水会館）（Ⅳ. 石油特別会計補助事業：参照）
- 「日露石油ガス・セミナー（大阪）～ロシアの石油ガス最新事情と日ロ協力の可能性～」(主催：（一社）ロシアNIS貿易会、平成25年2月15日、マイドームおおさか）（Ⅳ. 石油特別会計補助事業：参照）
- 「第4回日本カザフスタン経済官民合同協議会」（主催：経済産業省、外務省、日本カザフスタン経済委員会、（一社）ロシアNIS貿易会、カザフスタン共和国産業・新技術省、在日カザフスタン共和国大使館、平成25年2月18日、如水会館）（Ⅲ. 国庫補助事業、Ⅵ. 二国間経済委員会事務局業務の運営:参照）
- 「ロシア・ビジネスセミナー 北九州企業にとってのロシア工業地帯の魅力」（主催：ロ

シア連邦スヴェルドロフスク州政府、(一社) ロシア NIS 貿易会、北九州市、後援：(公財) 北九州国際技術協力協会他、平成 25 年 2 月 18 日、ホテルニュータガワ (北九州市)

(Ⅲ. 国庫補助事業:参照)

- 「ロシア・ビジネスセミナー スヴェルドロフスク州 (チタン・バレー経済特区) 投資プレゼンテーション」(主催：(一社) ロシア NIS 貿易会、スヴェルドロフスク州政府、後援：(独) 日本貿易振興機構 (JETRO)、平成 25 年 2 月 20 日、如水会館) (Ⅲ. 国庫補助事業:参照)
- 「ロシア・ビジネスセミナー 日本企業にとってのロシア工業地帯の魅力」(主催：(一社) ロシア NIS 貿易会、スヴェルドロフスク州政府、共催：名古屋商工会議所、後援：(独) 日本貿易振興機構 (JETRO) 名古屋貿易情報センター、平成 25 年 2 月 22 日、名古屋商工会議所) (Ⅲ. 国庫補助事業:参照)
- 「ロシア沿海地方投資プレゼンテーション～動き出すサーキット場計画とカジノタウン構想」(主催：(一社) ロシア NIS 貿易会、平成 25 年 3 月 7 日、如水会館) (Ⅲ. 国庫補助事業:参照)
- ロシアビジネスセミナー「ロシアビジネスーはじめての課題 in 宮城」(主催：(一社) ロシア NIS 貿易会、後援：宮城県、(独) 日本貿易振興機構 (JETRO) 仙台貿易情報センター、平成 25 年 3 月 22 日、ホテルメトロポリタン仙台) (Ⅴ. JKA 補助事業:参照)

## 5. 見本市関連事業

- ・平成 24 年度に関係諸国で開催された各種見本市について情報提供を行った。
- ・平成 24 年 11 月 28 日～29 日、モスクワ・エキスポセンターにおいて「JAPAN EXPO IN RUSSIA 2012」を JAPAN EXPO IN RUSSIA 2012 実行委員会および(株)JTB コーポレートセールスと共同で主催し、66 社の出展を支援した。(Ⅰ. 情報サービス・ビジネス交流事業 4. 講演会・シンポジウム・セミナー等の開催、Ⅲ. 国庫補助事業:参照)

## 6. ロシア語研修事業

サンクトペテルブルグ大学に 1 名のロシア語研修生を派遣した。

## 7. 日露貿易投資促進機構関連事業

「日露貿易投資促進機構」事務局業務を担当し、日本とロシアとのビジネス促進に係わる事業を実施した。(Ⅲ. 国庫補助事業：参照)

## 8. 「実業ロシア」との協力の覚書に調印

平成 24 年 (2012 年) 11 月に玄葉外務大臣 (当時) とロシアのシュヴァロフ第一副首相の立会いの下、ロシアの経済団体「実業ロシア」との間で協力の覚書に調印した。

## II. 受託調査等事業

下記の調査事業を受託した。(括弧内は受託先)

- ①「原子力関連産業人材育成支援事業」(経済産業省)
- ②「内外一体の経済成長戦略構築にかかる国際経済調査事業(ロシアにおける中央・地方府の新経済政策の分析及び日本企業進出有望・優先地域・分野の選定に関する調査)」(経済産業省)
- ③「内外一体の経済成長戦略構築にかかる国際経済調査事業(ロシア極東地域における日本企業進出可能性に関する調査)」(経済産業省)
- ④「ロシアメディアによる石油・天然ガス関連情報の翻訳および考察業務」((独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC))
- ⑤「MUFG BizBuddyにかかる情報提供」(民間企業からの業務委託)
- ⑥「MUFG BizBuddyへの記事提供」(民間企業からの業務委託)
- ⑦「極東・東シベリア地域(サハリンを含む)の石油・天然ガス開発およびエネルギー輸送インフラ整備の動向について」(民間企業からの業務委託)
- ⑧「ロシアの自動車産業政策とロシア極東における日本製中古車ビジネス」(民間企業からの業務委託)

他

## III. 国庫補助事業

国庫からの補助金を得て下記の事業を実施した。

### ロシア地域貿易投資促進事業費補助事業(海外市場調査等事業)

#### 1. 情報収集・提供事業

##### (1) ビジネス基礎情報整備

以下の事業項目に従い、日ロの企業情報、貿易投資関連基礎情報およびビジネス関連情報の収集を行い、適宜更新を行いながら情報を提供した。

- ①日露企業情報収集整備・更新
- ②貿易投資関連基礎情報及びビジネス関連情報整備・更新
- ③データベース更新(ロシア企業情報データベース、ロシア貿易統計データベース)

##### (2) ビジネス詳細情報収集提供

###### ① ロシア新規市場開拓可能性調査

###### A. 新政権の誕生とロシア市場

(平成24年6月3日～5日 ウリヤノフスク、モスクワ)

(平成24年11月11日～18日 モスクワ)

ロシアの有力な工業地域である沿ボルガ連邦管区に属し、自動車産業および航空機産

業などの機械工業が盛んであるロシア連邦ウリヤノフスク州において州知事との面談、同州発展会社によるプレゼンテーションを通じて、同州の経済・投資ポテンシャルについて情報収集を実施した。また、すでに同州に進出している日系の自動車用安全システムメーカーの工場および同工場があるザヴォルジエ工業団地、ウリヤノフスク自動車工場を訪問した。

また、平成 24 年（2012 年）5 月に誕生した新政権の経済政策や WTO 正式加盟後の新政権の動きに注目し、それがロシアの市場に及ぼす影響を含め最新の経済情勢について現地の経済専門家から情報を収集した。また、日本企業のプレゼンスが高い市場部門もしくは日本企業が注目している市場部門の専門家やビジネスマンを中心にヒアリングを実施し、最新の市場の状況について情報を収集した。

これら 2 回の調査結果を報告書にまとめた。

## ② ロシア経済法運用・市場慣行実態調査

### A. ロシアのイノベーション促進政策とビジネスチャンス

（平成 24 年 8 月 30 日～9 月 8 日 モスクワ、ペルミ、ウファ）

（平成 24 年 10 月 22 日～31 日 モスクワ、サンクトペテルブルグ、キエフ、シンフェロポリ）

（平成 25 年 1 月 23 日～1 月 31 日 モスクワ、ヴォルゴグラード、ロストフ）

ロシアでは、資源・素材の生産に偏重したプリミティブな産業構造を高度化・多角化することが国是となっており、様々な政策を駆使して経済のイノベーション化を推進しようとしている。そこで本事業においては、ロシアのイノベーション促進の政策枠組み、具体的なプロジェクト等の調査を実施した。その際に、ロシア・ベラルーシ・カザフスタンによる「共通経済空間」が発足し、ウクライナをはじめとするその他のNIS諸国の参加も取り沙汰されていることから、これら周辺諸国との関係性、比較を視野に入れて調査を行った。その上で、本件が日系企業のビジネスに及ぼす影響を分析し、対応のあり方を提示した。

## 2. ビジネスマッチング、コンサルティング事業

### (1) セミナー開催事業

#### ①ロシア開催

##### A. 日露投資フォーラム

- ・事前準備出張（タタルスタン共和国カザン市、平成 24 年 4 月 18 日～23 日）
- ・日露投資フォーラム（タタルスタン共和国カザン市、平成 24 年 6 月 6 日～7 日）

平成 24 年 6 月 4 日～5 日にカザンで APEC 貿易担当大臣会合が開催される機会をとらえ、翌 6 日に第 5 回目となる「日露投資フォーラム」を開催した。日本側から枝野幸男経済産業大臣他企業・政府機関・各種団体関係者など約 200 名が、ロシア側よりミンニ

ハノフ・タタルスタン共和国大統領、サヴェリエフ経済発展省次官以下、約 250 名が参加、メインテーマの「東日本大震災後の日本経済の復興と大統領選後のロシア近代化政策の展望」に沿って活発な議論が行われた。また、8 つのセクター別分科会が行われた他、文書署名式においては民間企業によるものを含む 6 件の文書が調印され、大きな成果となった。翌 6 月 7 日には、タタルスタン共和国政府の全面的な協力のもと、フォーラム参加者のうち希望者を対象にアラブガ経済特区視察が実施された。

## ②日本開催

### A. ロシアの地方組織及び産業組織による貿易投資促進セミナー

#### ・モスクワ市投資プレゼンテーション

(平成 24 年 12 月 7 日 ホテルニューオータニ)

モスクワ市科学・産業政策・企業活動局代表団一行の来日を機に、「モスクワ市投資プレゼンテーション～モスクワのテクノポリス構想～」を開催した。セミナーではコミッサーロフ・モスクワ市科学・産業政策・企業活動局局長他が、市の投資政策の説明、テクノポリス構想ならびに経済特区「ゼレノグラード」の紹介を行ったほか、日本側からも山田秀之(株)野村総合研究所上席コンサルタントが、「モスクワ市の発展計画と日本企業の事業機会」と題してプレゼンテーションを行った。日露双方より約 130 名が参加、活発な意見交換が行われた。

#### ・ロシア・ナノテク投資セミナー

(平成 25 年 2 月 5 日 ホテルニューオータニ)

平成 23 年(2011 年)にロシアにおけるナノテク技術の開発と商業化を目的に国家の 100%出資によって設立された国策企業「ロスナノ」社が日本のビジネス界にロシアのナノテク技術の現状について紹介すると同時に、同分野における日本とのビジネス発展、協力の可能性について提案するために、「ロシア・ナノテク投資セミナー～ナノテク分野における日露協力の可能性～」を東京にて開催した。

同セミナーでは最初にグルデフ・ロスナノプロジェクト部長より基調講演が行われ、ロスナノの概要、活動内容、日本企業との共同プロジェクト実現の可能性等について報告が行われた。次に RUSCHEMBIO のポプコフ CEO と NT ファルマのクジミチェヴァ・マネージャーよりそれぞれ自社の紹介が行われた。プレゼンテーション終了後には名刺交換会が行われ、日露双方、総勢 70 名の参加者が交流を図った。

#### ・スヴェルドロフスク州(チタン・バレー経済特区)投資プレゼンテーション

(平成 25 年 2 月 18 日 ホテルニュータガワ、2 月 20 日 如水会館、2 月 22 日 名古屋商工会議所)

クイヴァシエフ・スヴェルドロフスク州知事を団長とする代表団の来日を機に、同州

の経済・投資ポテンシャル、特に同州におけるチタン・バレー経済特区にかかわるビジネス・チャンスを紹介するプレゼンテーションを、北九州、名古屋、東京で開催した。

## (2) ビジネス・マッチング推進事業

### ①派遣型ビジネス・マッチング事業

日本の新規市場開拓につながる可能性の高いロシアの地域、分野にビジネスチャンスを求める日本企業からなるミッションの派遣に際し、ビジネスマッチングの機会を設定するほか、当該地域や分野に詳しい日本人専門家を同行させ、日露双方の企業に対して、対日・対露ビジネスに関する助言を行い、貿易取引・投資案件の成就を支援した。

#### A. 日本の地域特産品等のロシアへの輸出促進商談会

- ・モスクワにおける日本単独展示会 JAPAN EXPO IN RUSSIA 2012  
(事前出張 平成24年9月24日～30日 モスクワ市)  
(平成24年11月21日～12月3日 モスクワ市)

#### B. 対ロシア貿易・投資促進ビジネスマッチング

- ・日本住宅・住宅資材輸出促進ビジネスマッチング サンクトペテルブルグ市オゼルキ・コテージ展示場における日本住宅モデルハウス・ショールームの開設  
(平成25年3月20日～25日 サンクトペテルブルグ市)

#### C. 対ロシア産業基盤貿易投資支援

- ・連続鋳造機用モールドの現地生産化に関するコンサルテーション  
(平成24年7月10日～16日 エカテリンブルグ市、ニジニ・タギル市)
- ・対ロシア製鉄技術等移転支援事業 チタン等の難削材の切削加工用エンドミルの輸出及び現地加工化に関するコンサルテーション  
(平成24年12月9日～12日 エカテリンブルグ市、ベルフニャヤ・サルダ市)
- ・対ロシアコンポジットマテリアル輸出支援事業  
(平成25年2月24日～3月1日 ウリヤノフスク市、モスクワ市)
- ・対ロシア製鉄技術等移転支援事業 デスケーリングバルブ  
(平成25年3月3日～7日 サラトフ市)

### ②受入型ビジネス・マッチング事業

日本の産業機械・設備、食品等のロシアへの輸出拡大を図るため、ロシアにおいて開発事業を行っているロシア企業の幹部、設備・機材の輸入商社、食品バイヤーなどを日本に招き、日本で開催される展示会の視察、商談会の開催、企業訪問を通して、日本企業とのビジネスマッチングを図った。

- ・南部鉄器等岩手県産品対ロ輸出ビジネスマッチング

平成24年8月20日～25日

ウラジオストックから日本茶等の食料品を手広く輸入するエイラン社社長等3名を日本に招へいし、岩手県盛岡市で開催された県の食品見本市に参加するとともに、エイラン社が新たに展開する大規模スーパーでのティーショップで、南部鉄器の販売を図るべく、製造メーカーである岩鑄を訪問し、商談を行った。

- ・対ロシア製鉄技術等移転支援事業

平成24年12月16日～21日

エカテリンブルグのエンジニアリング企業であるマシプロムの専門家を招聘し、北九州の三島光産において、技術移転、合弁企業設立に向けての意見交換を行った。加えて、フジコーの圧延ロールのロシア市場における今後の展開について協議を行った。さらに、新日鐵住金広畑製鉄所、中山製鋼所を訪問した。両社の生産現場の視察を行うとともに、幹部との面談を通じ、鉄鋼業において、今後いかに日ロ両国が協力できるか、意見交換を行った。

### 3. 機構関連業務実施円滑化事業

「日露貿易投資促進機構」事務局業務の円滑な実施のために当会モスクワ事務所の機能を活用して、ロシア連邦政府、地方行政政府との間の頻繁な折衝、調整等を行った。必要に応じて、モスクワ事務所の職員を現地に同行させ、適切な助言と支援を行い、また、ロシア人専門家、企業家の日本への渡航に際しては、日本入国査証の支援を行い、事業の円滑な実施を可能にした。

### 4. 極東・東シベリア等ビジネス案件事業化推進事業

ロシア連邦の極東および東シベリア地域で進められている「2013年までの極東・ザバイカル社会経済発展プログラム」等に規定された投資プロジェクトや現地協議等を通して収集したプロジェクトについて、当会が設置したビジネス案件評価委員会において分析し、日本企業にとって有望な案件の選定をしたうえで、事業化に向けた調査ミッションの派遣および有望案件の事業主体者の日本への招聘によるプレゼンテーションを以下のように実施した。

<現地協議>

- ・第1回現地協議（平成24年8月6日～13日、沿海地方）
- ・第2回現地協議（平成24年9月10日～14日、カムチャツカ地方）
- ・第3回現地協議（平成24年10月13日～20日、沿海地方、バハロフスク地方、ユダヤ自治州）

- ・第4回現地協議（平成24年11月7日～10日、モスクワ市）
- ・第5回現地協議（平成25年1月27日～30日、イルクーツク市）

#### <案件発掘・形成ミッション>

- ・第1回沿海地方投資案件発掘・形成ミッション（平成24年12月25日～28日、沿海地方）
- ・第2回沿海地方投資案件発掘・形成ミッション（平成25年2月6日～9日、沿海地方）

#### <ビジネス案件プレゼンテーション>

- ・「ロシア沿海地方投資プレゼンテーション」開催（平成25年3月7日、如水会館）

### 中央アジア地域等貿易投資促進事業費補助事業（政府開発援助海外市場調査等事業）

#### 1. 中央アジア投資環境整備・ビジネス振興事業

本事業は、世界有数のエネルギー資源を擁し、かつ地政学的に重要な位置にある中央アジア諸国との経済関係拡大が我が国にとって重要であるとの認識にたち、同諸国における投資環境整備と、日本との間の民間ビジネス振興を目的とした一連の事業を行うものである。平成24年度は、日本と中央アジア諸国の企業交流活発化と投資環境整備に関する意見交換のため、協議会および諸会合を開催した（詳細は下記参照）。

また、投資環境整備のための意見・情報交換、人的交流、相互理解強化のための機関としてトルクメニスタンとの間に「日本トルクメニスタン投資環境整備ネットワーク」を設立、日本企業に情報を提供するためのウェブサイトを開設した。

その他、日本企業に対する中央アジア経済に関する情報提供強化を目的に、カザフスタンの研究機関との協力のもと、調査報告書「中央アジア諸国の政治・経済情勢」をまとめた。

- ・第10回日本トルクメニスタン経済合同会議  
（平成24年7月19日、東京）
- ・キルギス企業によるミニプレゼンテーション  
（平成24年9月25日、東京）
- ・キルギス投資促進ラウンドテーブル  
（平成24年10月12日、東京）
- ・日本トルクメニスタン投資環境整備ネットワーク設立事務協議出張  
（平成24年11月24日～28日、トルクメニスタン・アシガバード市）
- ・第4回日本カザフスタン経済官民合同協議会準備出張  
（平成24年12月2日～5日、カザフスタン・アスタナ市）
- ・第4回日本カザフスタン経済官民合同協議会  
（平成25年2月18日、東京）
- ・「第2回日本・ウズベキスタン投資環境に係るワーキング・グループ」出張

(平成 25 年 3 月 2 日～4 日、ウズベキスタン・タシケント市)

- ・第 11 回日本ウズベキスタン経済合同会議

(平成 25 年 3 月 4 日～8 日、ウズベキスタン・タシケント市、ナヴォイ経済特区他)

- ・第 10 回日本トルクメニスタン投資環境整備ネットワーク設立

(平成 25 年 3 月 29 日)

## 2. 中央アジア等産業育成ビジネスマッチング事業

本事業は、原燃料・一次産品生産に特化した単純な産業構造を擁する中央アジア諸国にとって、産業多角化は長期的経済発展を図る上で不可欠の要件であるとの認識に鑑み、これを日本企業とのビジネスマッチングによって支援する。

平成 24 年度は、中央アジア諸国の在京大使館および現地パートナー機関を通じて、現地側のビジネスマッチング案件募集を行い、書類審査によりカザフスタンの環境企業グループおよびキルギス繊維産業企業連盟を平成 24 年度受入型ビジネスマッチング対象企業グループに選定。各企業グループを日本へ招聘し、日本企業との面談および見本市への参加、日本企業向けのビジネスプレゼンテーションを開催し、日本企業とのマッチングを図った。

また、平成 25 年 2 月 18 日に東京で開催された第 4 回日本カザフスタン経済官民合同協議会の機会を利用し、カザフスタン商工会議所会員企業および関係機関の幹部を日本へ招聘し、日本企業との交流促進を図った。

- ・第 1 回受入型ビジネスマッチング：カザフスタン環境企業グループ

(平成 24 年 12 月 7 日～14 日)

- ・第 2 回受入型ビジネスマッチング：キルギス繊維産業企業連盟

(平成 25 年 1 月 18 日～25 日)

- ・第 3 回受入型ビジネスマッチング：カザフスタン商工会議所ビジネスマッチング

(平成 25 年 2 月 16 日～19 日)

## IV. 石油特別会計補助事業

石油特別会計からの補助金を得て下記の事業を実施した。

(中東等産油国投資等促進事業)

### 1) ロシア投資促進事業

#### 1. 対ロシアビジネス交流支援事業

(1) ロシア技術市場・技術投資環境調査

- ・ロシア石油ガス分野での近代化の動きと日ロ間協力の可能性

(平成 24 年 12 月 1 日～16 日、ウラジオストク市、モスクワ市、ヤロスラヴリ市他)

当会職員 3 名をウラジオストク市、モスクワ市、ヤロスラヴリ市他に派遣し、石油ガス会

社、製油所、行政府、研究・調査機関等において聞き取り調査を行った。ウラジオストク市においてはガスプロムインヴェストヴォストーク、太平洋戦略策定センター、沿海地方行政府等、モスクワ市においては BP ロシア、ルスエナジー、石油ガス業界誌等、ヤロスラヴリ市ではスラヴネフチ、ヤロスラヴリ州行政府等を訪問し、ロシアの石油ガス生産の現状と展望、東シベリアのガス鉱床の開発の現状と展望、新しい関税システムの影響、さらにはロスネフチによる TNK-BP の買収やナホトカ付近での石油化学工場の建設プロジェクトの動き、ロシアにおけるシェールオイル・ガス生産の可能性に至る幅広いテーマを取り上げ、省エネ・環境対策関連を中心とする石油ガスプロジェクトへの日本企業の参加の可能性を探った。

## (2) 日露石油・環境技術情報提供・交流促進事業

### ①技術交流セミナー開催（日本開催）

ロシアの専門家招聘 平成 25 年 2 月 12 日～16 日（東京、大阪）

V. V. セミカーシェフ・ロシア科学アカデミー経済予測研究所部長を招聘し、以下のように東京で平成 25 年 2 月 13 日および大阪で 2 月 15 日に日露石油ガス・セミナーを実施し、ロシアの石油ガス最新事情と日ロ協力の可能性についてお話しをいただき、研究機関等を訪問し、日露の石油ガスの情報交流を行った。

#### 実施セミナー概要

- ・日露石油ガス・セミナー（東京）-ロシアの石油ガス最新事情と日ロ協力の可能性  
平成 25 年 2 月 13 日、如水会館
- ・日露石油ガス・セミナー（大阪）-ロシアの石油ガス最新事情と日ロ協力の可能性  
平成 25 年 2 月 15 日、マイドームおおさか

### ②技術交流代表団派遣事業

- ・日露石油ガス技術セミナー

（平成 24 年 12 月 2 日～8 日 モスクワ市、ペルミ市）

水素の大量貯蔵輸送技術を中心とする随伴ガスの有効利用および無線技術と光ファイバー・温度センサー技術を核とする石油ガス産業の上下流部門における新たなソリューションをテーマとして、平成 24 年 12 月 2 日～8 日に、ロシアに専門家を派遣し、モスクワの日本大使館（12 月 4 日実施）およびペルミ市（12 月 6 日実施）にて、石油ガス関係者を対象に日露石油ガス技術交流セミナーを開催し、ロシアの専門家と技術交流を行った。

## V. JKA 補助事業

(財)JKA からの補助金を得て下記の事業を実施した。

## 1. 国際交流の推進活動

### (1) ロシアおよびCIS 諸国での自転車文化および自転車競技の普及事業

ロシア・CIS 諸国での自転車文化および自転車競技の普及を図るため、事前調査およびプレゼンテーションおよび交流会を開催した。それらの実績を踏まえ、観光振興と自転車に焦点を当てた紹介・普及のビデオを作成した。また、ビデオについては、インターネット等を通じて配信した。事業内容をまとめた報告書「平成 24 年度ロシア等での自転車普及事業報告書」を作成した。

・事前調査 平成 24 年 7 月 23 日～26 日 イルクーツク市

・プレゼンテーションおよび交流会

平成 24 年 8 月 6 日～12 日 イルクーツク市、ウラン・ウデ市

「ロシアおよびCIS 諸国での自転車文化および自転車競技の普及事業 プレゼンテーションおよび交流会」開催（平成 24 年 8 月 7 日 ホテル イルクーツク、8 月 8 日 「バイカル-2020」会場内、8 月 10 日 東シベリア国家文化芸術アカデミー）

### (2) 中堅・中小企業のためのセミナー、プレゼンテーションの実施

東日本の沿岸地域の中堅・中小企業のロシアCIS 諸国での新規ビジネスを支援するために、仙台で 2 回、ロシアビジネスのセミナーを開催するとともに、公募にてロシアCIS で自社のプレゼンテーションを行う企業を公募し、その企業をハバロフスク地方に派遣し、プレゼンテーションを実施した。事業内容をまとめた報告書「平成 24 年度中堅・中小企業のプレゼンテーション等事業報告書」を作成した。

・ロシアビジネスセミナー「中堅・中小企業のロシアビジネスの可能性」in 仙台

（平成 24 年 8 月 29 日、アークホテル仙台）

・ハバロフスクでのプレゼンテーション

平成 25 年 2 月 25 日～3 月 1 日、ハバロフスク地方

（2 月 26 日 ロシア農業科学アカデミー極東農業科学研究所、2 月 27 日 ハバロフスク地方農業食料省 他）

・ロシアビジネスセミナー「ロシアビジネスーはじめての課題」in 仙台

（平成 25 年 3 月 22 日、ホテルメトロポリタン仙台）

## VI. 二国間経済委員会事務局業務の運営

中央アジア諸国、コーカサス諸国およびモンゴルの二国間経済委員会の事務局業務を下記の通り運営した。

・日本カザフスタン経済委員会

ー第 4 回日本カザフスタン経済官民合同協議会（平成 25 年 2 月 18 日、如水会館）

- ーイセケシェフ・カザフスタン共和国第一副首相歓迎昼食会（平成 25 年 2 月 18 日、ホテルオークラ）
- ・日本ウズベキスタン経済委員会
  - ートウルスノフ・ウズベキスタン共和国大使歓迎昼食会（平成 24 年 6 月 7 日、綱町三井倶楽部）
  - ー第 11 回日本ウズベキスタン経済合同会議（平成 25 年 3 月 5 日～7 日、タシケント市）
  - ーガニエフ・ウズベキスタン共和国対外経済関係・投資・貿易大臣歓迎昼食会（平成 25 年 3 月 14 日、帝国ホテル）
- ・日本トルクメニスタン経済委員会
  - ー第 10 回日本トルクメニスタン経済合同会議（平成 24 年 7 月 19 日、如水会館）
- ・日本アゼルバイジャン経済委員会
- ・日本モンゴル経済委員会
  - ーアリシア・カンピ女史講演会（平成 24 年 6 月 20 日、如水会館）
  - ー日本モンゴル国交樹立 40 周年記念訪問団（平成 24 年 7 月 9 日～14 日、ウランバートル市）

## VII. 会議の開催

定時総会、理事会、企画委員会を下記の通り開催した。

- ・一般社団法人発足に伴う総会（平成 24 年 5 月 21 日、如水会館）
  - 第 1 号議案 定款の一部改正（案）
  - 第 2 号議案 補欠役員の選任（案）
- ・平成 24 年度定時総会（平成 24 年 6 月 13 日、如水会館）
  - 報告事項 平成 23 年度事業報告及び事業報告の附属明細書
  - 第 1 号議案 平成 23 年度計算書類等（案）
  - 第 2 号議案 補欠役員の選任（案）
- ・平成 24 年度第 1 回理事会（平成 24 年 4 月 27 日、定款第 29 条第 2 項に基づき決議）
  - 議題：
    - 提案事項 一般社団法人ロシア NIS 貿易会発足に伴う総会開催の件（案）
- ・平成 24 年度第 2 回理事会（平成 24 年 5 月 21 日、如水会館）
  - 議題：
    - 第 1 号議案 補欠副会長等の選定（案）
    - 第 2 号議案 平成 23 年度事業報告及び事業報告の附属明細書（案）

第3号議案 平成23年度計算書類及び附属明細書(案)

第4号議案 平成24年度定時総会開催の件(案)

- 平成24年度第3回理事会(平成25年3月21日、如水会館)

議題:

(1) 議案審議

第1号議案 平成25年度事業計画書(案)

第2号議案 平成25年度収支予算書(案)

第3号議案 新規会員承認の件(案)

第4号議案 企画委員会委員の選任の件(案)

第5号議案 平成24年度事業計画及び収支予算の一部変更(案)

(2) 当面のスケジュールについて

(3) ROTOBO ミッションの派遣について

(4) 常任理事について

- 平成24年度第1回企画委員会および懇親会

(平成24年11月15日、ロシアNIS貿易会会議室)

議題: (1) 一般社団法人移行後のこれからの活動について

(2) 自由討議、意見交換

- 平成24年度第2回企画委員会(平成25年3月14日、ロシアNIS貿易会会議室)

議題: (1) 平成24年度第3回理事会について

平成25年度事業計画書(案)、平成25年度収支予算書(案) 他

(2) 当面の行事予定

(3) 自由討議、意見交換

## VIII. 平成24年度会員の異動

(平成25年3月31日現在)

1. 会員数

正会員 33社(前年度 36社)

準会員 104社(前年度 113社)

合計 137社(前年度 149社)

2. 入会

正会員 0社

準会員 7社 鳥取県

株式会社国際協力銀行  
 飛洋航空機製造開発株式会社  
 株式会社岩鑄  
 ニチハ株式会社  
 長瀬産業株式会社  
 株式会社ネイチャープラス

3. 退会  
 正会員

4 社 住友金属工業株式会社  
 旭硝子株式会社  
 独立行政法人日本貿易保険  
 独立行政法人国際協力機構

準会員

15 社 竹中事務所  
 J F E スチール株式会社  
 積水化学工業株式会社  
 株式会社本田技術研究所  
 トランク株式会社  
 株式会社アルゴナフト  
 株式会社日本製鋼所  
 北海道電力株式会社  
 昭和電工株式会社  
 独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構  
 公益財団法人日本生産性本部  
 ジョーコーポレーション  
 株式会社ホンダカーズ札幌中央  
 株式会社日立総合計画研究所  
 株式会社船井総合研究所

4. 会員資格の変更

- 1) 準会員から正会員への変更 1 社 三島光産(株)  
 2) 正会員から準会員への変更 0 社

## 【事業報告の附属明細書】

平成 24 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 25 年 5 月 21 日

一般社団法人ロシア NIS 貿易会